

江戸参府 De Hofreis 年表 (未完)

2008年2月6日

西暦	和暦	回数	発地	着地	往路		復路		行程	コメント	商館長				備考
					出発	到着	出発	到着			商館長名	着任	退任		
1600	慶長	5							デ・リーフデ号豊後に漂着	オランダ船デ・リーフデ号豊後に漂着、ウィリアム・アダムズ(三浦安針)・ヤン・ヨーステン(耶揚子)ら上陸	スベックス				
1601		6									スベックス				
1602		7									スベックス				
1603		8									スベックス				
1604		9									スベックス				
1605		10									スベックス				
1606		11									スベックス				
1607		12									スベックス				
1608		13									スベックス				
1609		14							平戸にオランダ商館開設	平戸にオランダ商館開設、日蘭正式通商始まる。初代商館長スベックス	スベックス				
1610		15									スベックス				
1611	16														
1612	17		平戸	駿府						二代商館長ブルーワー着任、駿府に参府して国書交換	ブルーワー				
1613		18													
1614		19													
1615	元和	1													
1616		2													
1617		3													
1618		4													
1619		5													
1620		6													
1621		7										コックス			
1622		8	S1						元和2年(1622年)、カピタンによる江戸参府が行われ(Wikipedia) (注)元号と西暦が不一致						
1623		9													
1624	寛永	1													
1625		2													
1626		3													
1627		4													
1628		5													
1629		6													
1630		7													
1631		8													
1632		9													
1633		10	1	平戸	江戸				6/7将軍家光に拝謁(ピーテル・ファン・サンテン)	幕府、商館長の江戸参府を定例化する。第1回の商館長ピーテル・ファン・サンテン(オランダ・カピタンの江戸参府(1)鐘ヶ江 殿)	ピーテル・ファン・サンテン	1633/1/17	1633/9/6	推定	
		2	平戸	江戸	10月?日	11月6日	12月19日				ニコラース・クーケバッケル	1633/9/6	1639/2/3		
1634		11					1月13日	往路は平戸・兵庫間を海路、帰路は大坂・平戸間を海路	商館長ニコラース・クーケバッケル参府。家光病氣のため謁見できずカロンを名代として江戸に留める。 シーボルトの「日本」では1634,1636はフランソア・カロン、ヘンドリック・ハーヘナールと記載						
1635		12	3	平戸	江戸	2月24日	3月27日	6月8日	6月27日	往復とも平戸・大坂間を海路、大坂・江戸間を陸路	商館長と上級商務員フランソア・カロン				
			4	平戸	江戸	12月14日		1月4日	2月4日	往復とも平戸・大坂間を海路、大坂・江戸間を陸路	ヘンドリック・ハーヘナールの日記				
1636		13													
			5	平戸	江戸	2月24日	3月19日			往路は平戸・大坂間を海路。帰路は不明	上級商務員フランソア・カロン				
			6	平戸	江戸	10月11日	11月8日			往路は平戸から海路。上陸地、帰路は不明	上級商務員コルネリス・ファン・ザーネン、助手ダニエル・レイニールセン				
1637		14													
1638		15	7	平戸	江戸	3月29日	5月1日			往路は平戸・大坂間を海路。帰路は不明	不明				
1639		16	8	平戸	江戸	3月24日	5月2日	6月27日	7月12日	往復とも平戸・大坂間を海路、大坂・江戸間を陸路	商館長フランソア・カロン				
1640		17	9	平戸	江戸	4月17日	5月12日	7月12日	7月27日	往復とも平戸・大坂間を海路、大坂・江戸間を陸路		フランソア・カロン	1639/2/3	1641/	
1641		18	10	平戸?	江戸	3月16日	4月11日	5月19日	6月8日	往復とも平戸?・大坂間を海路、大坂・江戸間を陸路。長崎:平戸間は不	オランダ商館出島に移す				
1642		19	11	長崎	江戸					往復とも長崎・大坂間を海路、大坂・江戸間を陸路。長崎:平戸間は小					
1643		20	12	長崎	江戸			2月3日	3月8日			エルセラック			
1644	正保	1	13	長崎	江戸										
1645		2	14	長崎	江戸										
1646		3	15	長崎	江戸										
1647		4	16	長崎	江戸										
1648	慶安	1	17	長崎	江戸										
1649		2	18	長崎	江戸										
1650		3	19	長崎	江戸						アンドレアス・フリシウス、アントネイ・ファン・ブロンクホルスト				
1651		4	20	長崎	江戸										
1652	承応	1	21	長崎	江戸										
1653		2	22	長崎	江戸										
1654		3	23	長崎	江戸										
1655	明暦	1	24	長崎	江戸										
1656		2	25	長崎	江戸										
1657		3	26	長崎	江戸					1657年まで長崎から大阪までを海路(シーボルト「日本」)		ワーヘナール			
1658	万治	1	27	長崎	江戸										
1659		2	28	長崎	江戸										
1660		3	29	長崎	江戸										
1661	寛文	1	30	長崎	江戸					長崎:時津を陸路、大村湾をわたり彼岸・小倉を陸路、下関まで船で渡り下関から大阪まで海路(シーボルト「日本」)					
1662		2	31	長崎	江戸										
1663		3	32	長崎	江戸										
1664		4	33	長崎	江戸										
1665		5	34	長崎	江戸										
1666		6	35	長崎	江戸										
1667		7	36	長崎	江戸										
1668		8	37	長崎	江戸										
1669		9	38	長崎	江戸										
1670		10	39	長崎	江戸										
1671		11	40	長崎	江戸										
1672		12	41	長崎	江戸										
1673	延宝	1	42	長崎	江戸										
1674		2	43	長崎	江戸										
1675		3	44	長崎	江戸										
1675															

西暦	和暦	回数	発地	着地	往路		復路		行程	コメント	商館長			備考
					出発	到着	出発	到着			商館長名	着任	退任	
1676		4	45	長崎	江戸									
1677		5	46	長崎	江戸									
1678		6	47	長崎	江戸									
1679		7	48	長崎	江戸									
1680		8	49	長崎	江戸									
1681	天和	1	50	長崎	江戸									
1682		2	51	長崎	江戸				綱吉、参府商館長カンシウス謁見のさい、初めて歌舞音曲を命ずる	カンシウス				
1683		3	52	長崎	江戸									
1684	貞享	1	53	長崎	江戸									
1685		2	54	長崎	江戸									
1686		3	55	長崎	江戸									
1687		4	56	長崎	江戸									
1688	元禄	1	57	長崎	江戸									
1689		2	58	長崎	江戸									
1690		3	59	長崎	江戸				ドイツ人医官ケンペル、長崎に着任					
1691		4	60	長崎	江戸			ケンペル1691年と1692年に連続して、江戸参府を経験し徳川綱吉にも謁見 小倉、下関から室まで海路、使節団 ケンペル 4人(シーボルト「日						
1692		5	61	長崎	江戸									
1693		6	62	長崎	江戸									
1694		7	63	長崎	江戸									
1695		8	64	長崎	江戸									
1696		9	65	長崎	江戸									
1697		10	66	長崎	江戸									
1698		11	67	長崎	江戸									
1699		12	68	長崎	江戸									
1700		13	69	長崎	江戸									
1701		14	70	長崎	江戸									
1702		15	71	長崎	江戸									
1703		16	72	長崎	江戸									
1704	宝永	1	73	長崎	江戸									
1705		2	74	長崎	江戸									
1706		3	75	長崎	江戸									
1707		4	76	長崎	江戸									
1708		5	77	長崎	江戸									
1709		6	78	長崎	江戸									
1710		7	79	長崎	江戸									
1711	正徳	1	80	長崎	江戸									
1712		2	81	長崎	江戸									
1713		3	82	長崎	江戸									
1714		4	83	長崎	江戸									
1715		5	84	長崎	江戸									
1716	享保	1	85	長崎	江戸									
1717		2	86	長崎	江戸									
1718		3	87	長崎	江戸									
1719		4	88	長崎	江戸									
1720		5	89	長崎	江戸									
1721		6	90	長崎	江戸									
1722		7	91	長崎	江戸									
1723		8	92	長崎	江戸									
1724		9	93	長崎	江戸									
1725		10	94	長崎	江戸									
1726		11	95	長崎	江戸									
1727		12	96	長崎	江戸									
1728		13	97	長崎	江戸									
1729		14	98	長崎	江戸									
1730		15	99	長崎	江戸									
1731		16	100	長崎	江戸									
1732		17	101	長崎	江戸									
1733		18	102	長崎	江戸									
1734		19	103	長崎	江戸									
1735		20	104	長崎	江戸									
1736	元文	1	105	長崎	江戸									
1737		2	106	長崎	江戸									
1738		3	107	長崎	江戸									
1739		4	108	長崎	江戸									
1740		5	109	長崎	江戸									
1741	寛保	1	110	長崎	江戸									
1742		2	111	長崎	江戸									
1743		3	112	長崎	江戸									
1744	延享	1	113	長崎	江戸									
1745		2	114	長崎	江戸									
1746		3	115	長崎	江戸									
1747		4	116	長崎	江戸									
1748	寛延	1	117	長崎	江戸									
1749		2	118	長崎	江戸									
1750		3	119	長崎	江戸									
1751	宝暦	1	120	長崎	江戸									
1752		2	121	長崎	江戸									
1753		3	122	長崎	江戸									
1754		4	123	長崎	江戸									
1755		5	124	長崎	江戸									
1756		6	125	長崎	江戸									
1757		7	126	長崎	江戸									
1758		8	127	長崎	江戸									
1759		9	128	長崎	江戸									

江戸参府 De Hofreis 年表 (未完)

2008年2月6日

[illegible]

西暦	和暦	回数	発地	着地	往路		復路		行程	コメント	商館長			備考
					出発	到着	出発	到着			商館長名	着任	退任	
1836		7												
1837		8												
1838		9	171	長崎	江戸									
1839		10												
1840		11												
1841		12												
1842		13	172	長崎	江戸									
1843		14												
1844	弘化	1												
1845		2												
1846		3	173	長崎	江戸									
1847		4												
1848	嘉永	1												
1849		2												
1850	嘉永	3	174	長崎	江戸					商館長レフィスゾーン参府(最後の江戸参府)	レフィスゾーン			

参考文献

・オランダ商館長日記 訳文編

東京大学資料編纂所編

・シーボルト「日本」 第二巻

フィリップ・フランツ・シーボルト著 中井晶夫・斎藤信訳